浴室・水廻り用化粧板

バスフィットパネル 施工説明書

2021.05 改定

◎ 施工前に、この施工説明書をよく読み、正しく施工してください。
◎ 施工される前に、品番及び輸送時の破損・傷の確認をお願い致します。その後の責任は負いかねますのでご注意ください。
◎ **本製品は不燃材料ではありません。内装制限がある壁面では使用できません。**
◎ 本製品は、**環境の変化により伸び縮みがあります。**必ず、標準施工方法・注意事項に従って施工してください。
◎ 本製品は、化粧フィルム（柄）が貼ってある方が化粧面です。艶有りタイプ（BFG）には保護フィルムが貼ってあります。化粧面の傷・凹み防止のため、仕上げ完了まで剥がさないでください。
◎ 施工時に湿気を帯びた状態の下地は十分乾かした状態にしてください。湿気を帯びた状態での施工は、施工後の剥がれや浮きの原因となります。
◎ 本製品の化粧面に傷が付いたり、凹みが生じた場合は、補修が困難です。本製品の化粧面を傷つけないようにご注意ください。
◎ 本製品の傷や凹み防止のため、段ボール梱包は施工直前まで開梱しないでください。開梱後、ヘルメット・安全帯・工具などをバスフィットパネルの表面にぶつけたり、擦ったりしないようにしてください。
◎ 5℃以下の環境では施工しないでください（接着剤の硬化不良の恐れがあります）。
◎ 室内での施工のため、施工中・施工後の養生期間には換気を行ってください。
◎ 本製品の壁面に、器具等を取り付ける場合は、接着剤や吸壁等でパネル表面に固定しないでください。また、ビス固定をする場合は、保持力のある下地に取り付けてください。（ビス穴へは止水処理をしてください。）
◎ 専用接着剤、抗菌防カビシリコーン、専用プライマーについては、それぞれのSDSにて詳細な安全情報をご確認ください。
◎ 本製品は、事業者を対象とした業務用製品ですので、廃棄する場合は産業廃棄物として処理してください。（バスフィットパネル／廃プラスチック、保護フィルム／廃プラスチック、段ボールケース等／紙類）。
◎ **水廻りに使用される場合は、本製品の端部より水が入ってこないように止水処理を行ってください。**

⚠ 安全についてのご注意

下記の注意事項は、怪我や事故を事前に防止するためのものですので、必ずお守りください。

注意事項	想定される危険性
●**指定の防水テープ・専用仮留めテープ・専用接着剤以外は使用しないでください。** ●下地施工は材料メーカーが指定する方法を厳守してください。	剥がれによる落下の恐れ
●運搬・作業時には滑り止めの手袋を着用するとともに、加工時に樹脂粉が発生するため、保護マスク・保護メガネを着用してください。もし、樹脂粉が皮膚についたり、目・鼻・口に入った場合は、速やかに水で十分洗い流してください。また、異常を感じたら、直ちに医師の手当てを受けてください。 ●カット・加工した端部で手を切る可能性があるため、必ず端部をサンドペーパーで面取りしてください。 ●使用する専用接着剤・専用プライマーには有機溶剤が含まれているものがありますので、使用時には十分換気するとともに、火気に十分ご注意ください。	怪我もしくは健康障害を生ずる恐れ
●本製品は可燃性であるため、火気周辺では使用しないでください。	火災の恐れ

施工の手順

施工前の確認 → 施工方法

1. 材料確認
2. 下地の確認 前処理
3. 割付け・納まり確認
4. カット・加工
5. 防水テープ貼付 仮留テープ貼付
6. 専用接着剤 塗布
7. 貼付・圧着
8. シーリング
9. 養生フィルム 剥がし

養生（2日間）

住まい空間を演出する AICA

1 材料確認

商品仕様

品名	サイズ(㎜)	梱包入り数
バスフィットパネル	3×8:t3.2×910±2㎜×2,430-0,+8	2枚/梱包
	4×8:t3.2×1,200±2㎜×2,430-0,+8	

別売り専用施工部材		品番	サイズ・容量	標準施工量	梱包入り枚数
専用仮留めテープ	不陸1㎜未満	ZK-31	1㎜厚×幅20㎜×10m/巻	1巻/3×8:1枚分(不陸1mm未満)	40巻
	不陸1～5㎜未満	ZK-5□	3㎜厚×幅20㎜×200mm短冊	約40本/3×8:1枚分※	□=A:400本 □=B:200本
防水テープ	不陸1㎜未満	ZK-2B	1㎜厚×幅15㎜×15m/巻	1.0坪の浴室/1梱包	3巻/梱包
			1㎜厚×幅30㎜×15m/巻		1巻/梱包
	不陸1～5㎜未満(ONタイル用)	ZK-4B	4㎜厚×幅15㎜×10m/巻	0.75坪の浴室/1梱包※	2巻/梱包
			4㎜厚×幅40㎜×10m/巻		3巻/梱包
浴室専用接着剤	不陸1㎜未満	SE-8	333ml/本	1本以上/3×8(不陸1㎜未満)	20本/ケース
	不陸1～5㎜未満			4本/3×8(不陸1～5㎜未満)※	
抗菌・防カビシリコーン		JK-57T■	320ml/本	12～15m分/本	10本/ケース×2
専用プライマー(タイル下地の場合は使用しない)		JW-900N	1kg/缶	1缶/3×8:3～4枚分	2缶/ケース

専用接着剤SE-8、抗菌防カビシリコーンJK-57T■(■は色品番)、専用プライマーJW-900NはF☆☆☆☆です。
※プライマーの詳細は、3ページの「下地の確認・前処理」でご確認ください。
※表記は目安です。下地の不陸レベルなどに合わせ、貼付量・塗付量を調節してください。

加工工具

加工に関する道具は下記をお使いください。
加工仕切り精度に影響を及ぼすため刃物は新しいものをお選びください。

① **切断加工** カッターナイフ

② **穴あけ加工** ドリル、ホールソー

③ **仕上げ** サンドペーパー、ヤスリ

施工前の確認

2 下地の確認・前処理 重要

はじめに、本製品の施工が可能かどうか確認ください。

Ⅰ 下地の種類のチェック

適していない下地について

■ 下地表面が、濡れていたり、湿気を帯びた下地への直貼りはできません。
■ ALC躯体への直貼りはできません。
■ RC壁面への直貼りはできません。
※耐水せっこうボードは浴室の下地としては使用できません。
■ 不陸が大きい下地（5㎜以上）へは施工できません。

その他、下記**「施工可能な下地」**に該当しない下地の場合は、必ず当社までお問い合わせください。

施工可能な下地について

●けい酸カルシウム板（t8㎜以上・比重 1.0）
●特類広葉樹合板　（t12㎜以上）
●モルタル面（含水率4.5%以下・密着強度1.0N/㎟以上 平滑な金ゴテ仕上・不陸2㎜以下）

→ **専用プライマー アイカアイボン JW-900N を全面に塗布してください。**

●タイル　タイル下地の場合は4ページの注意事項を遵守してください。
●ユニットバス（FRP樹脂板、塩ビ鋼板、塗装鋼板、タイル等）
※塗装や、防汚コートなど表面処理がされてる場合は事前に下地材の状態と接着剤の相性をご確認ください。

躯体への下地材固定方法について

●軽量鉄骨壁下地　スタッドは65形以上を使用してください。下地材（けい酸カルシウム板または特類広葉樹合板）を専用ビスで200～300mmピッチで固定してください。
■下地材の専用ビス固定時のビス穴および目地・出隅・入隅部分にシリコーンを充填してください（在来工法・枠組壁工法の場合も同様です）。
■枠廻り・出隅・入隅部分の下地材端部は専用ビスで確実に固定してください。

ご注意
●本製品は不燃材料ではありません。内装制限がある壁面では使用できません。
●浴室壁面への本製品の施工に際し、構造躯体が、外気の影響を受けやすい場合、接着剤の塗布パターンが結露跡として見える場合があります。そのような場合は、浴室換気を行ってください。

Ⅱ 下地の種類毎の前処理

● 各下地に適した前処理を行ってください。

下地がけい酸カルシウム板・特類広葉樹合板・モルタルの場合

本製品を貼り付ける部分の全面に予め専用プライマー（JW-900N）を塗布してください。

■標準塗布量：JW-900N　1kg→3×8サイズ3～4枚分

ご注意
●専用プライマー（JW-900N）は薄めずに、そのままご使用ください。
●専用プライマー（JW-900N）塗布後、**4時間から7日以内**に本製品を貼り付けてください。
JW-900Nはトルエン・キシレンを含んでおりませんが、ご使用の際には十分に換気を行ってください。

下地がユニットバスの場合

●塗装や、防汚コートなど表面処理がされてる場合は事前に接着剤の相性をご確認ください。
●施工前に下地壁面の表面の清掃、付着水分の除去を行ってください。

下地がタイルの場合

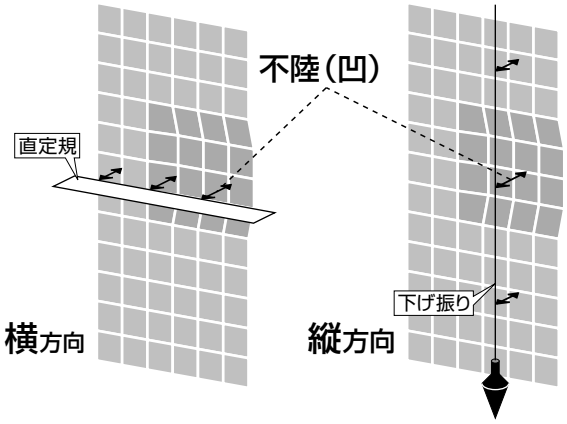
● タイル下地の場合、下記①～③の注意事項を確認してください。

❶ タイル表面の確認

対処方法 清掃　タイル表面の汚れを充分に除去してください。

❷ タイル表面の不陸の有無

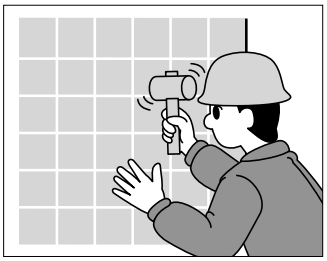
◎右図のように直定規・下げ振り・レーザーレベル等を用いて壁面の水平・垂直の不陸を測定してください。
※施工可能な**最大不陸は5㎜未満(目安)**です。
5㎜を超える場合は、新規に下地を作製してください。
※タイル表面の不陸調整は仮留めテープの貼り増しで行ってください。
タイル表面にはプライマーは塗布しないでください。



対処方法 下地作製

◎モルタルで不陸調整を行うか、8mm以上のけい酸カルシウム板(比重1.0)または、12mm以上の特類広葉樹合板で下地を作製してください。

※モルタル:含水率4.5%以下・付着強度1.0N/mm²、平滑な金ゴテ仕上
※けい酸カルシウム板、特類広葉樹合板:必ず躯体にビス固定してください。
※耐水せっこうボードは、浴室下地として適していませんので使用しないでください。
●作製した下地には前処理 (専用プライマーJW-900N)を行ってください。



❸ 表面タイルの浮きの有無

◎タイル壁面の打音検査で、タイルの浮きを調べてください。
浮いたり剥がれたタイルは下記の方法での補修を行ってください。

対処方法 モルタルの充填又は全面打設

比較的小規模なタイル剥離から全面タイルはつりの補修まで幅広い対応が可能です。躯体(コンクリート・ブロック)とモルタルとの密着が悪いと剥離の原因になりますので注意してください。

含水率4.5%以下・付着強度1.0N/㎟・平滑な金ゴテ仕上、不陸2㎜以下

対処方法 エポキシ樹脂モルタルの充填

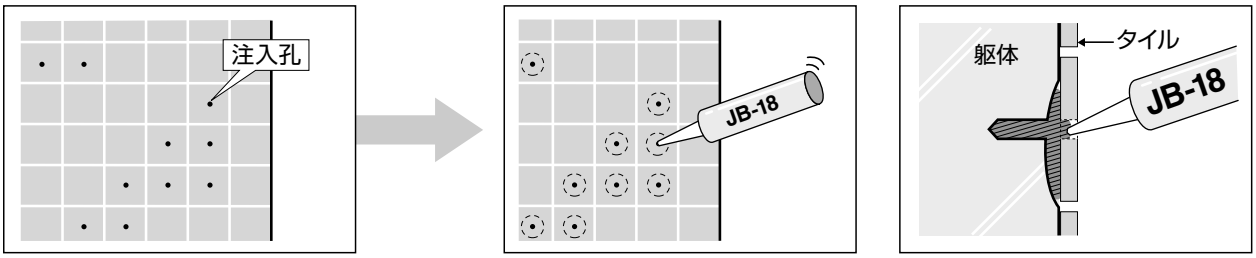
比較的小規模なタイル剥離については剥離部分に充填補修用のエポキシ樹脂モルタルを充填してください。

アイカ商品
ジョリシールJB-18L(プライマー・タックコート)と
JE-9001(専用骨材)

●作製した下地には前処理 (専用プライマーJW-900N)を行ってください。

対処方法 ピンニングによる樹脂注入固定　アイカ商品 ジョリシールJB-18

下図のようにエポキシ樹脂等を浮きのあるタイル部分に注入して、浮き部分の剥離・剥落を防止します。



コンクリートドリルにて浮きのあるタイルの中央に1箇所、躯体に達するように穴をあけます。
穴の内側を十分に清掃してください。

JB-18をグリスガンにて穴の最深部より充填していきタイル表面と同じレベルになるまで充填します。
樹脂が固まった後、再度打診検査を行い充填状況を確認します。

注入量=25~30g/1穴

Ⅲ 下地の施工精度のチェック

●壁面の水平・垂直の確認を行ってください。　●壁面に不陸がないようにしてください。

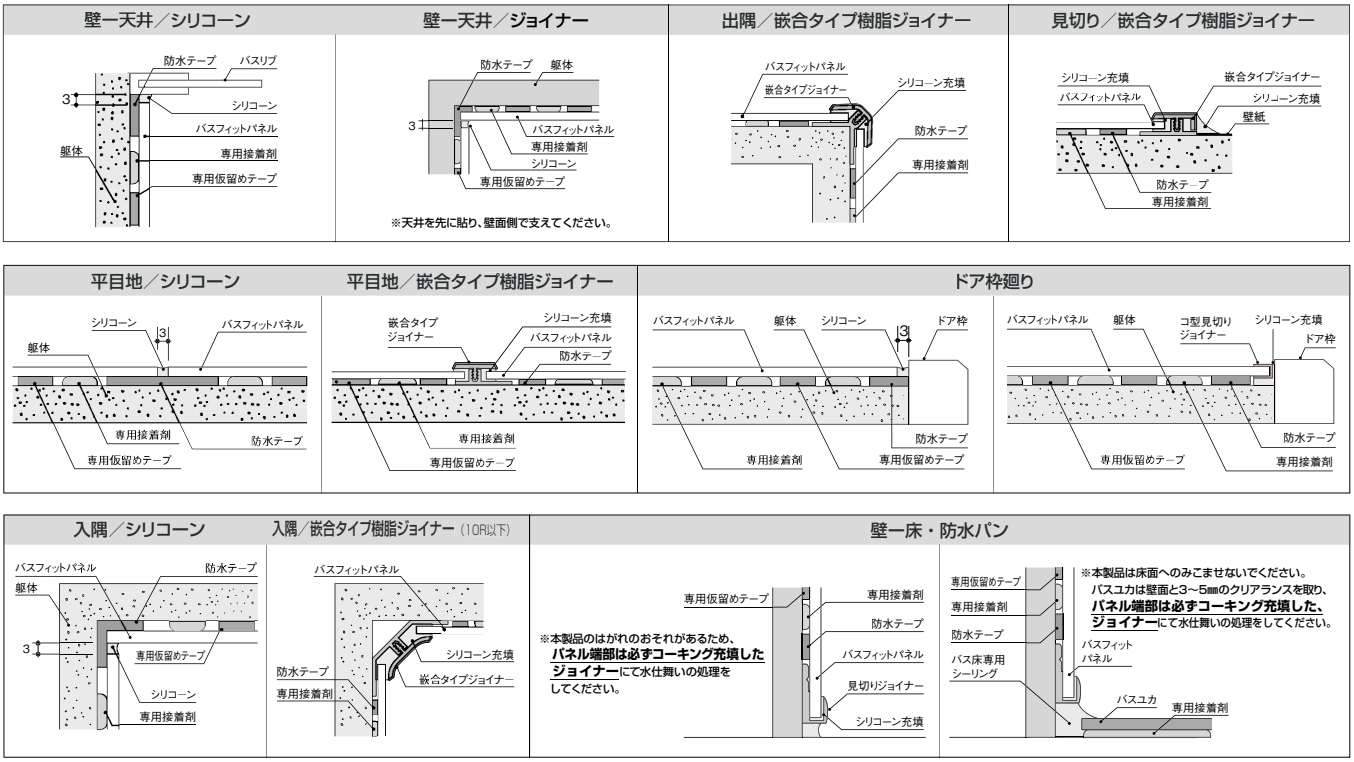
3 割付け・納まり確認

下記の注意事項を遵守して割付けを行ってください。

割付け時の注意点

●けい酸カルシウム板、特類広葉樹合板下地の場合、下地材の目地と本製品の目地が重ならないように、割付けてください。
●本製品で突きつけ施工はできません。必ず3mm以上のクリアランスを取り、シリコーンによるシーリング目地としてください。ジョイナーで施工される場合も、必ずクリアランスを取り、シリコーンをジョイナーに充填してください。シーリング充填後、製品を挿入する際には、はみ出たシリコーンが製品表面に付着しないようにご注意ください。
●本製品の端部は必ずコーキングにて止水処理を行ってください。止水処理が不十分な場合、本製品の膨れ、剥がれにつながる恐れがあります。

標準納まり図



ジョイナーの取り付け時の注意点

壁と床・天井・浴槽との境界、壁入隅・出隅、開口部廻りの部材を準備します。

嵌合タイプ樹脂ジョイナーの場合（※不陸下地が大きい場合（1～5㎜未満）はおすすめしません。）

◎先にベース材を躯体側に専用接着剤を使用して取り付けてください。
◎防水テープをベース材の脚の長さの分を控えて貼ってください。
◎本製品を施工する際に**シリコーンを充填し、**併用してください。
◎部材のカバー材を嵌合させてください。
◎取り付けの際にはみ出したシリコーンは、速やかに拭き取ってください。

ABSジョイナーの場合

◎防水テープをジョイナー裏面の脚の長さ分を控えて貼り付けしてください。
◎パネル施工時にジョイナーをパネルに差し込んで施工してください。
　その際、ジョイナーとパネルの間に**シリコーンを充填**してください。
◎取り付け時に、はみ出したシリコーンは速やかに拭き取ってください。

納まりの注意点

壁-床・防水パン納まり注意点

- **本製品の下端部は必ずコーキング充填したジョイナーにて水仕舞いの処理をしてください。**
- 本製品は床面へのみこませないでください。
- 浴室床材との取り合いは床仕上げ材用のコーキングシロを設けた納まりとしてください。

天井施工時の注意点

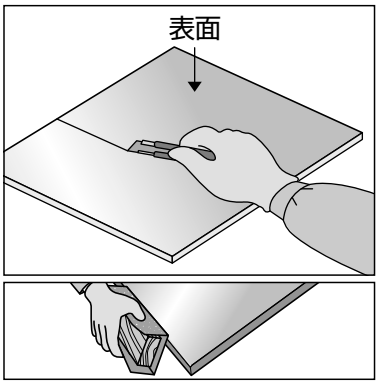
天井面への本製品の施工の際は、脱落リスクを軽減するために下記にご注意ください。

- 天井下地は施工可能な下地であることを確認してください。
- 下地が確実に固定されていることを確認してください。
- 下地は適切な前処理を行ってください。
- 天井施工はパネルの落下やたわみの発生のおそれがあるため、サイズは4×4尺以下としてください。
- 落下防止のため、天井を先に貼り、壁面側で支える納まりとしてください。
- 防水テープ・専用接着剤・仮留めテープは下地側に塗布してください。
- 天井に本製品を施工する場合は、壁面と天井の入隅には幅広の防水テープをまたぐように貼り付けてください。
- 天井施工の際は専用接着剤の塗布量を導守し、2人作業で行うなど、圧締を十分に行ってください。

施工方法

4 カット・加工

下記の注意事項を遵守してカット・穴あけ・切り欠きを行ってください。



カットする時の注意点

- カッターナイフでカットする際は、製品表面から刃を入れるようにしてください。
- 本製品のカットはパネルを切り通して切断してください。
  切り通さずにへし折るなど、パネルに負荷を加えないようにしてください。
- ビス打ちを行う際は、予め通し穴をあけてください。
- 丸鋸での裁断は表面の化粧シート層が欠けるおそれや、製品基材の樹脂が摩擦熱で溶けるおそれがあるので、使用しないでください。（化粧シート層の欠けや製品基材の変形が発生するおそれがあります。）

面取り方法

- 製品端部は、**軽く糸面取り**してください。

5 防水テープ貼付・仮留めテープ貼付

下記の注意事項を遵守して、仮留めテープ貼付・防水テープ貼付を行ってください。

下地壁面の不陸レベルを確認してください。不陸レベルに応じて施工に使用する部材が異なります。

施工部材と標準施工量 / 不陸レベル	防水テープ	専用仮留めテープ	専用接着剤
1㎜未満	ZK-2B 1.0坪の浴室/梱包	ZK-31 1巻 / 3×8	SE-8 1本 / 3×8
1～5㎜未満	ZK-4B 0.75坪の浴室/梱包※2	ZK-5□※1 約40本 / 3×8※2	SE-8 4本 / 3×8※2
5㎜以上	✕ 施工できません。平滑な下地を作製してください※3		

※1 □にはA、Bが入ります。
※2 表記は目安です。下地の不陸レベルに合わせ貼付量、塗布量を調整してください。
※3 施工可能な下地は（P3）を参照してください。

防水テープ貼付

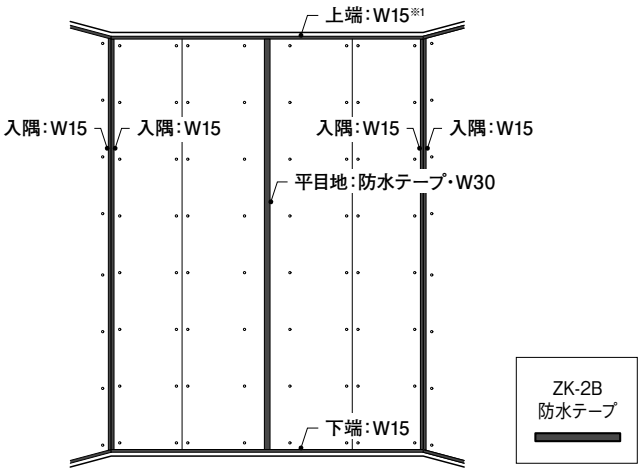
不陸レベルに合わせ、防水テープを選んでください。使用する部材によって テープの幅を使い分けてください。

下地不陸が0～1㎜未満（平滑下地）

ZK-2Bを使用してください。

15㎜幅：上下端部・出隅・入隅・枠廻り・開口部
30㎜幅：平目地・化粧出隅材

※1 天井に本製品を貼る場合は壁面と天井の入隅は30㎜幅の防水テープをご使用ください。

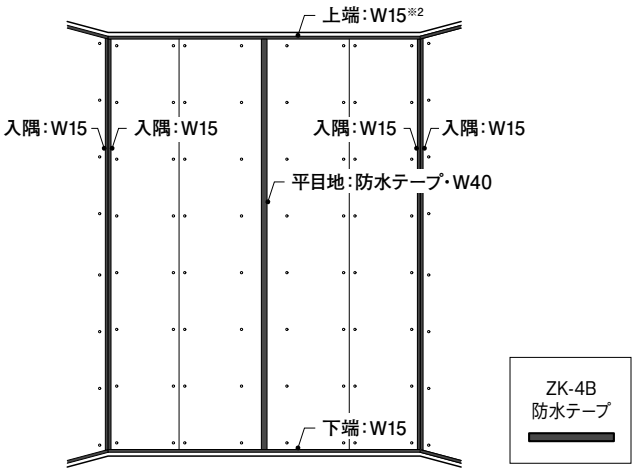


下地不陸が1～5㎜未満

ZK-4Bを使用してください。

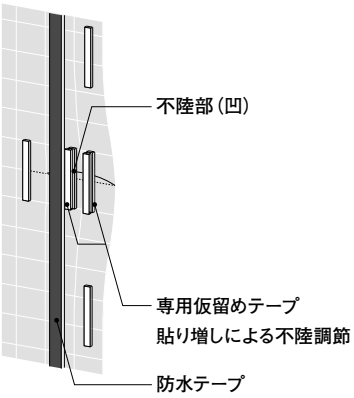
15㎜幅：上下端部、枠廻り、開口部
40㎜幅：平目地、入隅、出隅部分

※2 天井に本製品を貼る場合は壁面と天井の入隅は40㎜幅の防水テープをご使用ください。



防水テープ貼付の注意点

- 本製品の端部・開口部・切り欠き部に、出隅・見切りなどジョイナーを使用する場合は、防水テープをジョイナー裏面の脚の長さの分を控えて貼ってください（P5の標準納まり図を参照）。
- 配管などの開口部および切り欠き部も防水テープを使用してください。
- 不陸（凹み）部分は仮留めテープでの貼り増しで調整してください。
  例）4㎜不陸：3㎜厚+1㎜厚

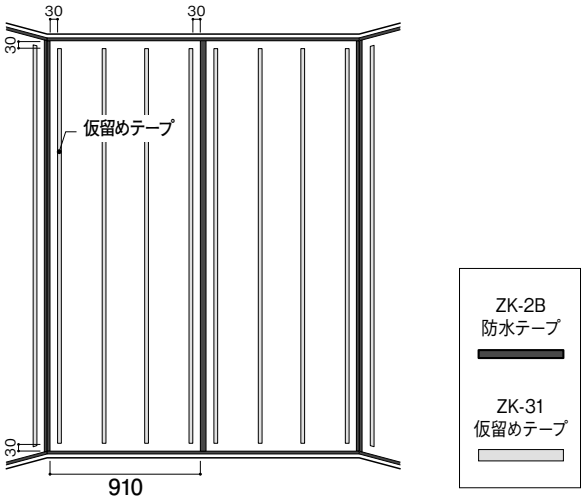


専用仮留めテープ貼付

不陸レベルに合わせ専用仮留めテープを選んでください。貼り付ける位置に注意してテープを貼ってください。

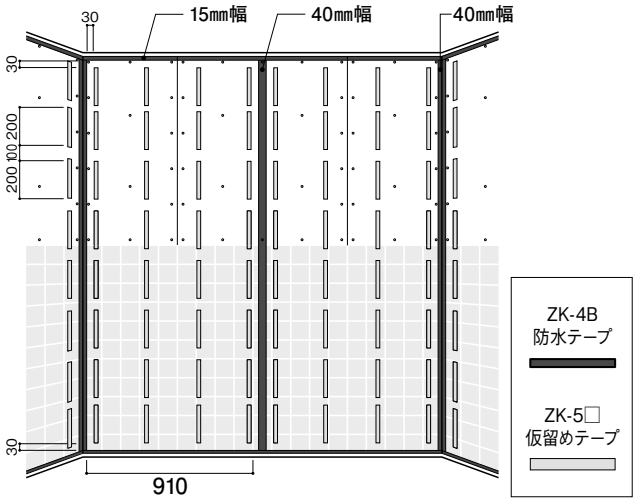
下地不陸が0～1㎜未満（平滑下地）

ZK-31を使用してください。



下地不陸が1～5㎜未満

ZK-5□を使用してください。

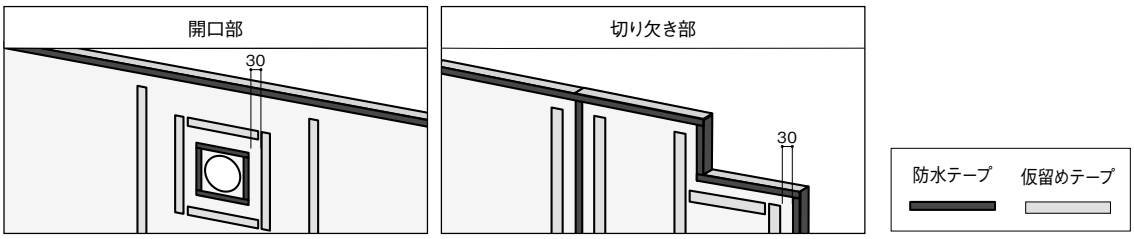


専用仮留めテープ貼付の注意点

- 本製品の端部に専用接着剤を塗布するためのスペース30㎜をあけて専用仮留めテープを貼り付けてください。
- 仮留めテープの貼り付け間隔は幅方向に均等になるように、貼り付けてください。
- 不陸の調節は1㎜厚及び3㎜厚の専用仮留めテープを重ねて行います。 例）4㎜不陸：3㎜厚+1㎜厚

開口部、切り欠き部のテープ貼の注意点

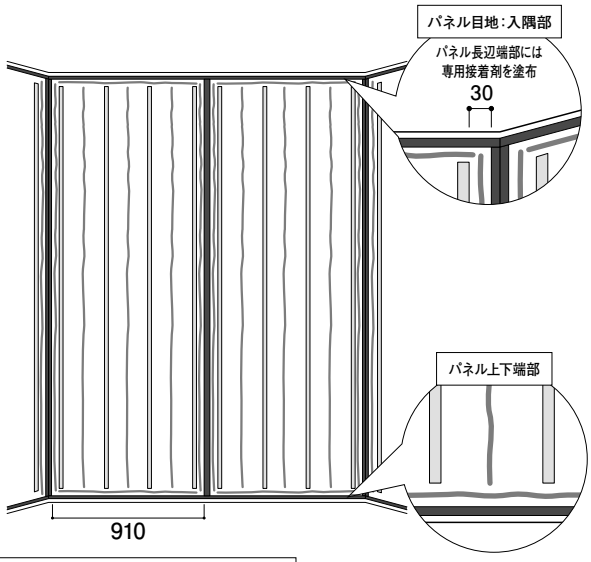
- 配管や器具固定時の開口部および切り欠きも防水テープ、仮留めテープを貼り付けしてください。
- 開口部および切り欠き部付近も専用接着剤を塗布するためのスペース30㎜をあけて仮留めテープを貼り付けてください。



7 専用接着剤塗布

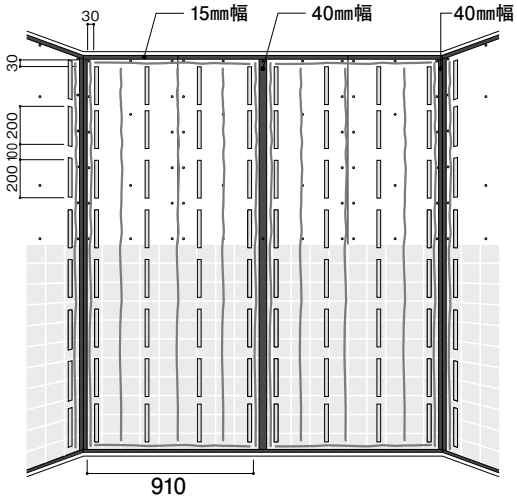
専用接着剤（SE-8）を必ず使用してください。

下地不陸が0～1㎜未満（平滑下地）



浴室用接着剤　防水テープ　仮留めテープ

下地不陸が1～5㎜未満



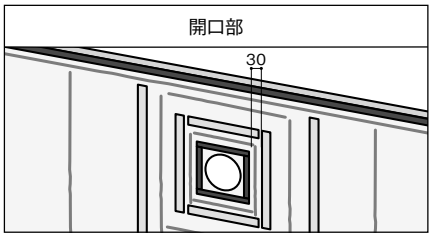
浴室用接着剤　防水テープ　仮留めテープ

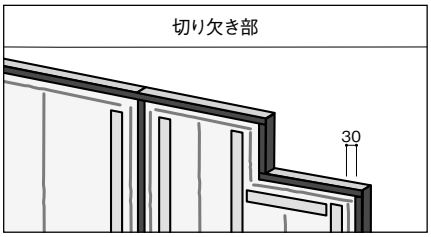
浴室専用接着剤塗布の注意点

- 接着剤は**仮留めテープの厚さより3㎜以上の高さ**になるように塗布してください。
- 本製品の**外周**には必ず接着剤を塗布してください。
  （外周塗布がない場合や、塗布量が少ない場合には、端部の浮きが発生することがあります）
- 本製品の面内は専用接着剤を天井から床面へ仮留めテープ間を等分するように、垂直方向に直線塗布してください。
- 切り欠き部分の周囲や器具等を取り付ける部分には必ず仮留めテープを貼り、接着剤を塗布してください。
- 本製品3×8サイズの面積に対して、専用接着剤を1本/SE-8（不陸1㎜未満）が目安の塗布量です。
  塗布量が少ない場合、剥がれなどの原因となります。
- 接着剤塗布後**10分以内**に貼り付け圧着してください。ただし、不陸が大きい場合（1～5㎜未満）は3×8サイズの面積に対して、専用接着剤の使用量の目安は4本となります。
- 仮留めテープは接着を補助する役割で、最終固定は専用接着剤となります。必ず仮留めテープの間近まで接着剤を塗布してください。接着剤が塗布されていないスペースが多いとパネルの浮きの原因となります。

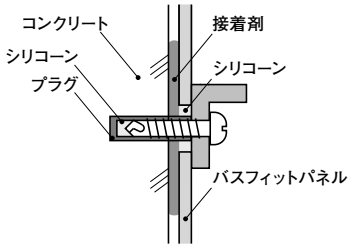
〈専用接着剤使用時のご注意〉 気温が5℃以下の場合は施工できません。

浴室用接着剤　防水テープ　仮留めテープ





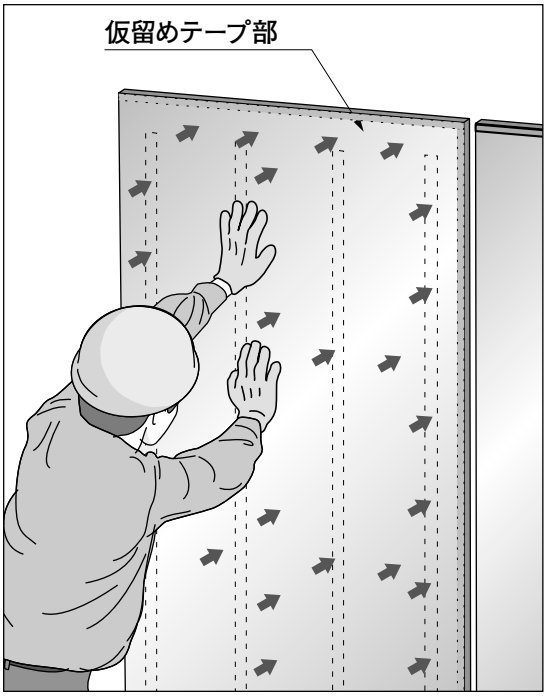
ご注意　器具固定



- 器具を固定する部分には接着剤をあらかじめ塗布してください。
- 本製品の壁面に、器具等を取り付ける場合は、接着剤や吸壁等でパネル表面に固定しないでください。また、ビス固定をする場合は、保持力のある下地に取り付けてください。
  （ビス穴へは止水処理をしてください。）
- 必ずビス径より大きな穴（通し穴）をあけて下地に固定してください。
- 接着剤が無い部分に器具を固定する場合には、本製品に通し穴をあけ、接着剤を注入してください。
- 接着部分に水が入ることを防ぐため、プラグおよび通し穴にシリコーンを充填してください。
- ビスの締めすぎに注意してください。（締めすぎによる割れ、ひずみの防止）

8 貼付・圧着

下記の注意事項を遵守して貼付・圧着を行ってください。



貼付時の注意点

●本製品を貼り付ける際に、中央部に**浮き**が発生しないように注意してください。又、貼り付け時は開口部・切り欠き部に歪みが発生しないようにしてください。

※防水テープ、仮留めテープが壁面に一度接着すると、調整ができなくなります。

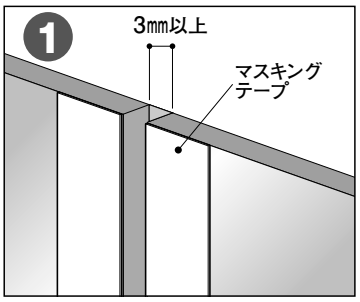
圧着する時の注意点

●**防水テープ部、仮留めテープ部**をしっかりと押さえてください。

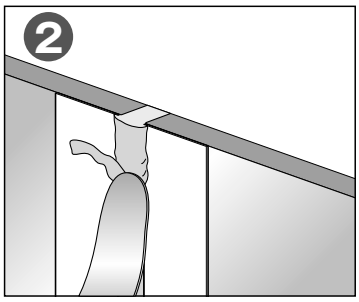
※接着剤部を押さえると泣き別れの恐れがありますのでご注意ください。

9 シーリング

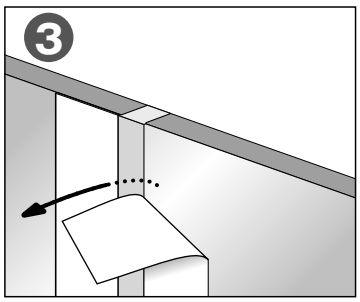
下記の手順に従ってシーリングを行ってください。（シリコーン納まりの場合）



マスキングテープを貼り付け、奥までしっかりとシリコーンを注入する。



ヘラなどを用いて、余分なシリコーンをかき取る。



マスキングテープを**ゆっくりと内側に**剥がす。

※水仕舞いを確実に行ってください。下地に水が浸入すると剥がれなどの原因になります。
※製品表面にシリコーンが付着すると除去が困難なため、ご注意ください。

10 養生フィルム剥がし

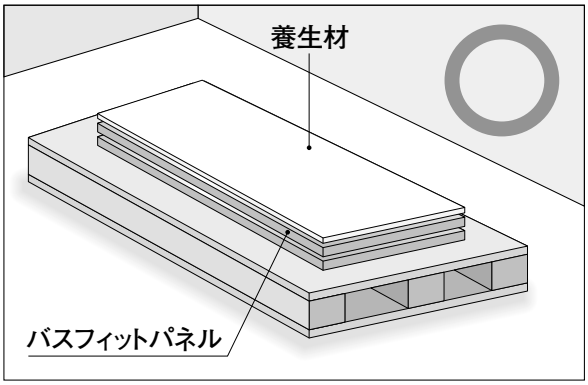
2日間以上養生後、表面の保護フィルムを剥がしてください。

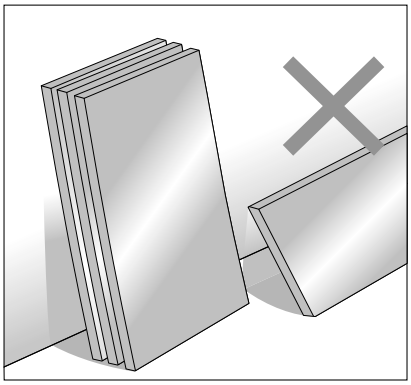
※保護フィルムが貼ってあるのは艶有りタイプ（BFG）のみです。

在庫・保管に関して

ご注意

●在庫保管は直射日光や雨の当たる場所を避け、風通しの良い屋内に保管してください。
●地面への直置きは避け、平らな場所でパレットなどの上に平積みしてください。
　壁などに立てかけると、反りの原因になりますので、絶対におやめください。
●本製品を平置きする場合は、最上部に養生材を置き養生シートをかけてください。





カタログ、サンプル帳、現物サンプルのご請求はホームページにてお受けしております。

http://www.aica.co.jp/　アイカ工業

業務用

●アイカカタログセンター
TEL〈052〉409-1471

●商品のお問い合わせはアイカ問合せセンターまでお願いいたします。
〈0120〉525-100　TEL〈052〉409-8313

※問合せセンター・カタログセンターを含む全営業店所の営業日は、月～金（除く：土日祝休）です。ホームページからのカタログ・サンプル当日出荷の受付締め時間は14：00です。
※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・一部のIP電話等からはご利用になれない場合がございます。

P030-04
21.05